

# ビーストマスター9000

●モーター部には高温時もハイパワーを発揮するブラシレスモーター「GIGA-MAX MOTOR」を採用し、強化ギアシステムを組み込むことで耐久性を向上。さらに魚探表示機能「探見丸スクリーン」を搭載するなど、シマノ最先端機能が満載。パワーと耐久性が求められる大型魚、深海ターゲットなど多様な沖釣りシーンで活躍する。2022年9月発売予定。

### 【GIGA-MAX MOTOR】

●構造上耐久性に優れ、モーターの性能が低下しやすい高温時においても強力なパワーを発揮するブラシレスモーター「GIGA-MAX MOTOR」を搭載。

### 【強化ギアシステム】

●飛躍的に耐久性を高めた強化ギアシステムを採用。モーターのパワーを伝える減速ギアをベアリング支持とし、ブレや摩耗を大幅に低減。

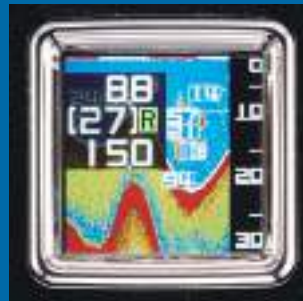
### 【BT マスター 11AH】

●ハイパワーを持続しながら長時間巻き上げが可能な耐久性を備え、リールが持っている本来のポテンシャルを引き出す高性能バッテリー。本体価格7万8000円

### 【探見丸スクリーン】

●すべての探見丸搭載船で使用できる探見丸スクリーンを装備。リールのモニターにカラー魚探が表示され、海底水深、海底形状、魚群、単体魚の体長（アキュフィッシュ）などが表示される（※アキュフィッシュ機能は、アキュフィッシュ対応の親機搭載船のみ使用可能）。

spec =ギア比=3.1。最大ドラグ力=25kg。自重=1485g。糸巻き量=6号1100m、8号900m、10号650m、12号550m。最大巻上長88cm /ハンドル1回転。ベアリング数=BB14。実用巻上持久力=20kg。最大巻上速度(分)=170m。実用巻上速度(分)150m(1kg負荷)、119m(10kg負荷)、96m(15kg負荷)。本体価格17万5000円



▲水深300～600メートル前後で8回投入を行い、バッテリー容量の約半分が残っていた

# TECHNOLOGYS OF S

▶当日は新島沖300～600メートルダチを狙った

★600メートルダチで上がった2キロ級

最新シマノテクノロジーの実証  
テクノロジー・オブ・エス vol.83



★新島沖のキンメ釣り場は水深500メートル以上の深い海域を狙うこともあるが、「ビーストマスター9000」はPE 8号 900メートルのラインキャパシティで対応可能

## 深海釣りの本場 新島沖のキンメも楽勝！ ビーストマスター 9000

●9月にモデルチェンジして新発売される予定の「ビーストマスター9000」。圧倒的なパワーと耐久性を誇るモーター&ギア、リールのモニター画面には探見丸スクリーンも表示。その実力をシマノフィールドテスター鈴木新太郎が新島沖のキンメ釣り場で実証する。



▶海面に浮かんだ大型のキンメをたぐり寄せる至福の時

◀小型のアコウダイも上がった



▶掛け枠に巻いた胴つき15～20本バリ仕掛けをミヨシから順番に投入  
▼水深600メートルのポイントでは800メートルまで道糸をのばして狙った

▲ドラッグを調節し、オモリが底から離れないように道糸を送り出す

東の空が朝焼けに染まった早朝の新島沖。南伊豆下田須崎港の番匠高宮丸に乗り込んだ鈴木新太郎さんが20本バリ仕掛けを巻いた掛け枠を握り投入合図を待つ。ターゲットは多くの釣り人が称賛する美味で知られるキンメダイ。キンメは冬場の釣りのイメージが強いが、実は夏場が最も脂の乗りがよく2キロオーバーの大型が高確率で上がる好期とされている。  
1 投目は水深300メートル。  
「着底後、オモリを底に着けた

めて道糸を送り出すなど、魚探画像を見ながら先手の戦術を取れるという。  
4 投目、5 投目と空振りが続いて船長が移動を決定。20分ほど走って到着した水深600メートルで6投目となった。  
着底後、糸フケを巻き取った直後に竿先がたたかれた。「強いアタリでした。キンメだ」と思います」  
ドラッグを緩めに調節して道糸を送り出していき、820メートルまでのぼしたところで巻き上げ合図が出る。

仕掛けをたぐり上げていくと1つだけ赤い魚影が見えてきた。無事キャッチしたのは、これぞ新島キンメと呼ぶにふさわしい2キロ級の大型だ。  
この1枚が呼び水となったのか、7投目は同じポイントを狙って船内数名が1～2キロ級をダブルでキャッチ。  
ラスト8投目で鈴木さんが1.5

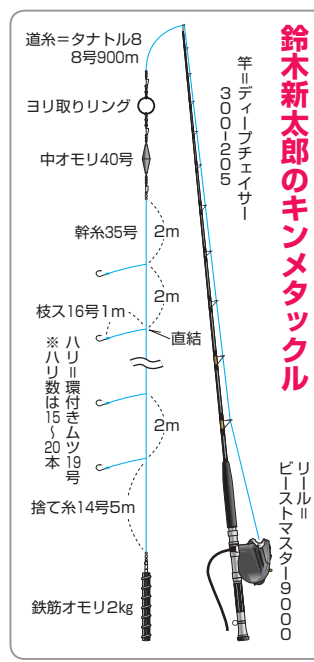
状態仕掛けが浮かさないよう、ドラッグを調節して潮流の抵抗に合わせながら道糸を送り込んでいくのが新島沖の基本的な釣り方です。このリールのドラッグは一定のテンションで滑らかに糸が出ていくので調節が簡単。巻き上げパワーも強力なので大型キンメの多点掛けも楽勝です」  
鈴木さんが手にするそのリールは9月にモデルチェンジして新発売される予定のビーストマスター9000。内蔵されたギアマックスモーターは強力なパワーと耐久性を誇るブラシレスモーター。ギアシステムも強化しキンメの多点掛けなど高負荷と長距離の巻き上げに対応する。  
1 投目、2 投目は空振りしたもの、3 投目の水深500メートルで定番ゲスト、小型ながらアコウダイを取り込む。

「次はキンメですね。この釣りは斜面のポイントを狙うことも多いのですが、そんなときは海の中の様子が一目で分かる探見丸スクリーンが便利です」  
この機能は、リールが探見丸の親機の電波をキャッチし、カラー液晶画面に海底水深、海底形状、群れの反応や魚体長などが表示されるシマノ独自のテクノロジー。例えば、カケ下がりでは底から仕掛けが離れないように、ドラッグをほぼフリーに緩



▲ロッドは深海専用のディープチェイサー 300-205。特殊設計のエキサイトップが微細なアタリを伝える

「自分は単発のみでビーストマスター9000のパワーをお披露目するには物足りませんでしたが、新製品の使い心地を確かめるには十分でした。今夜は新島キンメの刺身で一杯やりまして言いつながら、鈴木さんは笑顔で港を後にした。



### 鈴木新太郎のキンメタックル

リール=ビーストマスター9000